



<小児科>

概要

1. 一般小児科
2. 新生児医療センター(NMC)

(1) 一般小児科

新生児を含めた一次から三次までの小児救急医療に 24 時間体制で臨む、東三河唯一のセンター病院としての役割を担っている。スタッフ一同、「声なき声を聴く」を病棟のスローガンに掲げ、こどもたちの気持ちにも配慮した、こどもたち主体の医療を心がけている。蒲郡市民病院、渥美病院、またこども発達センター(ホイップ)の乳児健診などとも人事交流を果たしてきた。今後も各医療施設や行政と連携を取りながら、地域医療全体に貢献すべく対応していきたいと考えている。

2011 年の小児科病棟入院患者は 1313 名であった。入院患者さんの疾患はアレルギー、先天奇形、心疾患、腎疾患、神経疾患、内分泌・代謝疾患、悪性腫瘍、そして被虐待児などあらゆる分野にわたり、日本小児白血病研究会の治療指針に従った化学療法、持続的血液濾過透析など、広く小児専門医療にも対応した。人工呼吸管理が必要な重症者は ICU で管理を行っている。心疾患患者さんが多く受診される中、名古屋市立大学小児科学教室から小児循環器専門医の応援をいただき診療にあたっているが、小児循環器専門医を常勤として確保することは喫緊の課題である。

小児科病棟では感染性疾患と非感染性疾患の患者さんが同一病棟に入院せざるを得ず、院内感染の予防は重要な課題である。当院では伊藤剛部長を中心に、アメリカ疾病管理センターのガイドラインに準拠した先進的な院内感染対策を構築し実施している。当院の医療スタッフのみでなく、患者さんやご家族にも感染予防対策を説明しご協力をお願いしている。このような積極的な取り組みにより、院内感染が減少し入院期間も短縮した。

病棟には院内学級(小、中学校)が設置され、また保育士も配属されている。また月に 2 回、ホスピタル・クラウン(道化師)が病棟を訪れてくれる。保育士やクラウンと接しているときのこどもたちの表情はいきいきと笑顔にあふれ、ご家族やスタッフの心も癒されている。献身的に取り組んで頂いているクラウンの皆様には深く感謝するとともに、本事業のさらなる発展を心から望むところである。

障がいとともに退院していく患者さん、末期がんの患者さんなどを対象に在宅医療にも対応している。主治医、看護師、ソーシャルワーカー、臨床工学技士、リハビリセンターなど、様々な分野のスタッフが密に連携し、ご家族を支える態勢をとっている。しかし在宅医療におけるご家族のご苦勞は計り知れない。レスパイトケアも望まれるが、残念なことに東三河には医療的ケアを要する重症障がい児のショートステイに対応できる施設が無い。市民からの要望も強く、本年度は小児科病棟でのレスパイト入院を導入した。しかし病床不足とマンパワー不足からその後中止せざるを得ない状況となっている。マンパワーと病棟の構造の両面での改善が必要である。

外来は年間約 4 万人の受診者があり、午前の診察時間に主に急性疾患を対象とした外来を一部予約制で、午後には腎臓外来(月、木)、内分泌・代謝外来(月)、神経外来(金)、ワクチン外来(月、火)、アレルギー外来(火)、未熟児、発達外来(水、金)、循環器外来(月、木)、糖尿病外来(木)、血液、腫瘍外来(木、金)、特殊神経外来(火、午前もあり)などの慢性疾患の外来をほぼ完全予約制で行っている。

毎日夕刻には入院中の児について症例検討会を開き、また毎週火曜日には抄読会を開いている。慎重な対応を要する例については医師全員の共通理解が必要なため、これらの会での議論を経て、診断、治療方針の確認をしている。さらに 1 カ月に 1 度の頻度で関係各位に講師をお願いして特別抄読会を開催し、最新の医療情報、検査方法などの理解を深める機会を設けている。

(小山典久)

(2) 新生児医療センター(NMC)

豊橋市民病院新生児医療センターは愛知県周産期医療システムの中で、東三河全域を医療圏とする地域周産期母子医療センター新生児部門であるとともに、東三河唯一の三次救急施設である。また周産期・新生児医学会周産期専門医制度において、小山典久を指導医とし新生児専門医の基幹研修施設にも指定されている。

平成 22 年度に愛知県が策定している周産期医療体制整備計画の中で、当院を指定することを前提にして、東三河に総合周産期母子医療センターを設置すること、また現在県内に 138 床ある NICU を 180 床から 210 床程度まで増床することが目標に掲げられている。NICU 増床の根拠となった厚労省の試算では、年間の出生数 1000 に対し 2.5 から 3 床の NICU ならびにその 2 倍の後方病床が必要とされている。東三河の年間出生数は 7 千人前後であり、NICU 必要数は 18 から 21 床と試算される。現在東三河の NICU 病床数は当院の 12 床のみ(後方病床は 23 床)であり、十分とはいえない。総合周産期母子医療センター指定に向けて当院産科病床の増床計画が進められているが、それに伴い入院を必要とする新生児数の増加も予想され、対応は必須であると思われる。

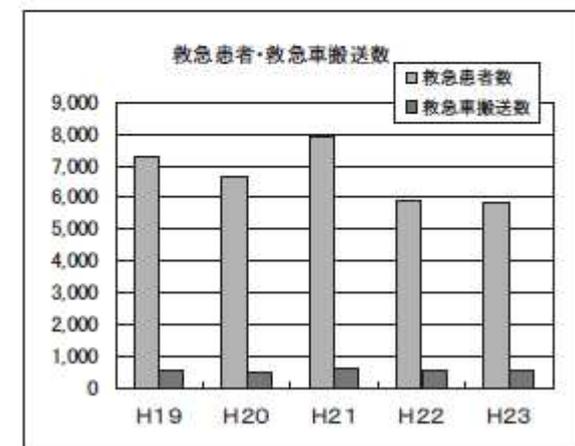
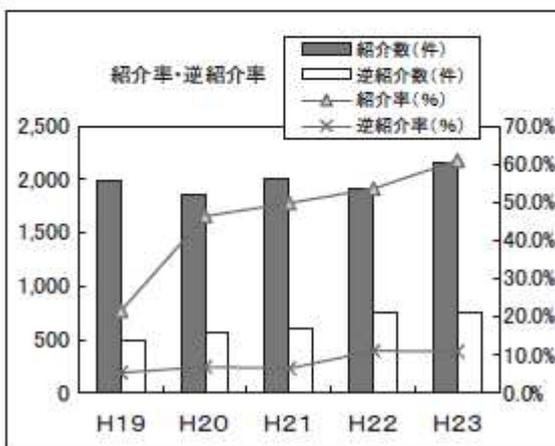
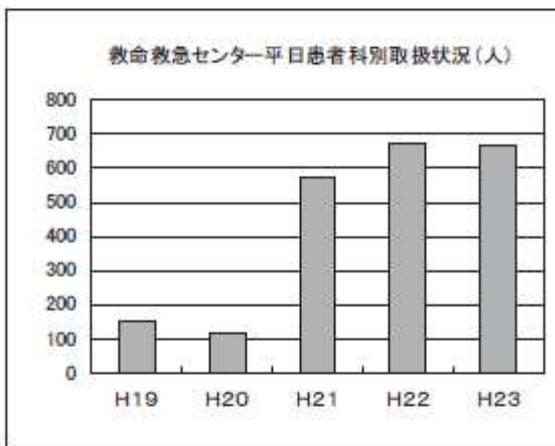
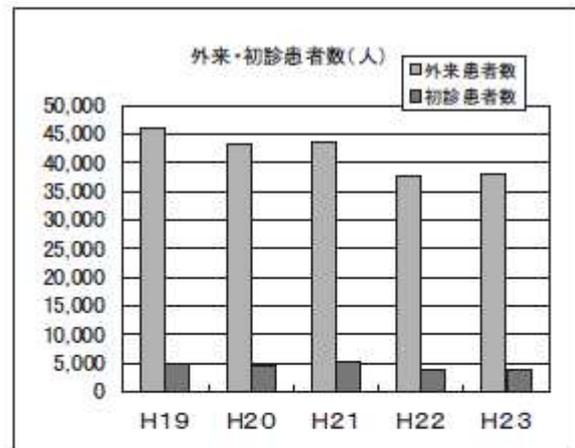
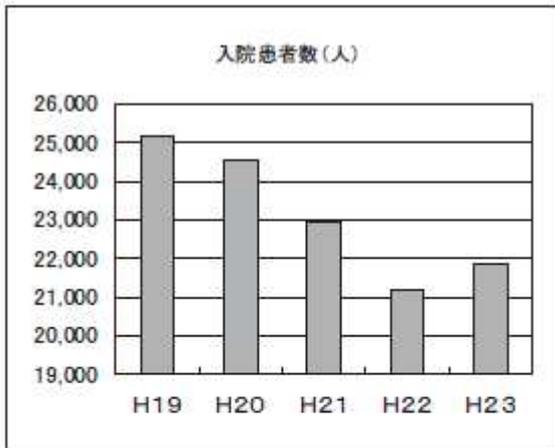
2011 年の入院数は 415 例、そのほかに産婦人科病棟で 34 例の新生児を入院管理した。83% は院内出生児であった。院外出生児、特に産科診療所、助産院での出生患者は当院新生児科医師が救急車で出向き搬送に対応した。本年は入院依頼のあった新生児はすべて受け入れることができた。

当センターは小児科のみでなく、院内の多くの科との連携の上に運営されている。産婦人科医とは定期的に症例検討会を開き研鑽に励んでいる。さらにリハビリテーション科とも定期的な症例検討会を開くとともに、入院早期からのポジショニングや排痰を促す理学療法、障害が予想されるハイリスク児への早期リハビリテーション導入、退院後の児の発達のフォローアップなど協力態勢をとっている。また 2011 年は小児外科、胸部外科、脳神経外科、眼科などで計 18 件の手術が行われた。小児外科疾患は非常勤の名古屋大学スタッフの献身的な協力のもと、急性疾患にも対応しているが常勤医の確保が強く望まれる。

一酸化窒素吸入療法や脳低温療法などの先進医療のみでなく、母児関係の確立支援や育児支援も当センターの重要な責務である。切迫早産で入院中のおかあさんとご家族に、出産前から小児科医がお子さんの状態や治療方針についてお話しする機会を持つプレネイタルビジットは、お子様の予後に希望を持てるようになったとご家族からも評価していただいている。また入院後は、御両親と離ればなれで治療を受けざるを得ない患児と御両親との絆を深める目的で、カンガルーケア、ベビーマッサージ、絆ノートなどの試みにも取り組んでおり好評である。さらに当院医療相談室のスタッフや地域保健師、療育施設、児童障害者相談センターなどとも連携を図り、児の健やかな成長・発達を支援する態勢で臨んでいる。

「赤ちゃんがなにかを訴えている」を座右の銘として、物言えぬ赤ちゃんたちの意を汲んだ医療を心がけていきたい。

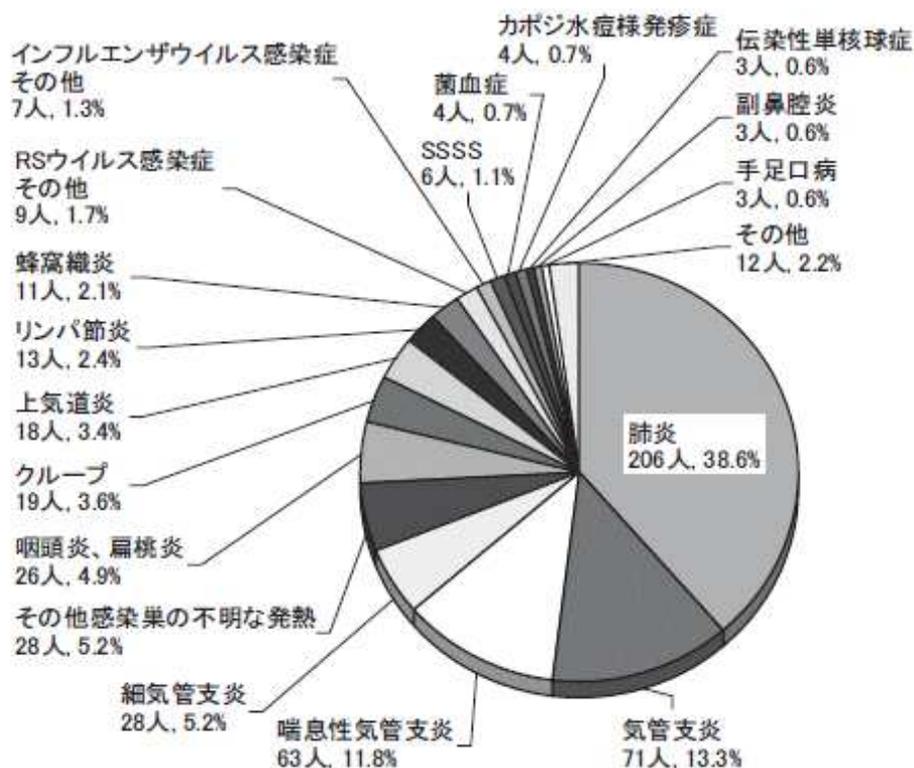
（小 山 典 久）



一般小児科

(1)小児科病棟 疾患(主病名)別入院患者数(2011年)

感染症 534人

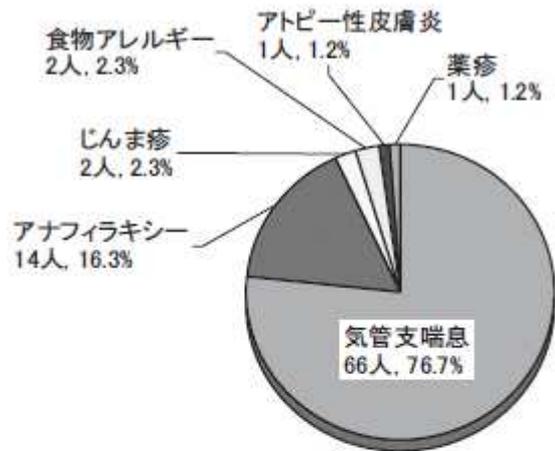


①感染症 (人)		(人)	
疾患名	患者数	疾患名	患者数
肺炎	206	SSSS	6
起炎菌不詳	166	菌血症	4
RSウイルス感染症	23	カボジ水痘様発疹症	4
インフルエンザウイルス感染症	4	伝染性単核球症	3
マイコプラズマ感染症	13	副鼻腔炎	3
気管支炎	71	手足口病	3
RSウイルス感染症	24	その他ウイルス感染	2
その他	47	中耳炎	2
喘息性気管支炎	63	ヘルペス歯肉口内炎	2
細気管支炎	28	仙尾部膿瘍	1
RSウイルス感染症	22	アデノウイルス感染症	1
その他	6	突発性発疹	1
その他感染巣の不明な発熱	28	百日咳	1
咽頭炎、扁桃炎	26	口腔内カンジダ症	1
クループ	19	腸腰筋筋膜炎	1
上気道炎	18	計	499
リンパ節炎	13		
蜂窩織炎	11		
RSウイルス感染症 その他	9		
インフルエンザウイルス感染症 (その他を含む)	7		

②アレルギー疾患 (人)

疾患名	患者数
気管支喘息	66
アナフィラキシー	14
じんま疹	2
食物アレルギー	2
アトピー性皮膚炎	1
蕁麻疹	1
計	86

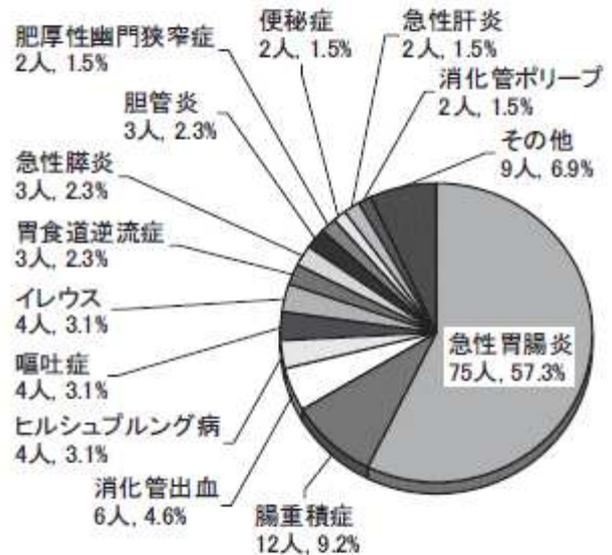
アレルギー疾患 88人



③消化器疾患 (人)

急性胃腸炎	75
ロタウイルス	37
細菌性	6
その他	32
腸重積症	12
消化管出血	6
ヒルシュブルグ病	4
嘔吐症	4
イレウス	4
胃食道逆流症	3
急性膵炎	3
胆管炎	3
肥厚性幽門狭窄症	2
便秘症	2
急性肝炎	2
消化管ポリープ	2
潰瘍性大腸炎	1
若年性ポリープ	1
小腸イレウス	1
先天性胆道閉鎖症の疑い	1
急性腹症	1
クローン病	1
肝腫大	1
A型肝炎	1
十二指腸潰瘍	1
計	131

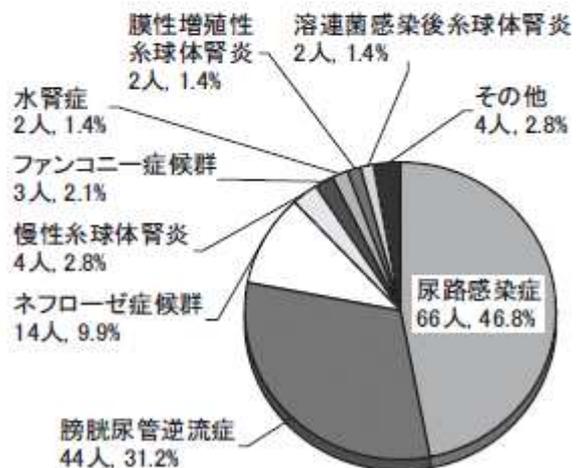
消化器疾患 131人



腎臓・尿路疾患 141人

④腎臓・尿路疾患 (人)

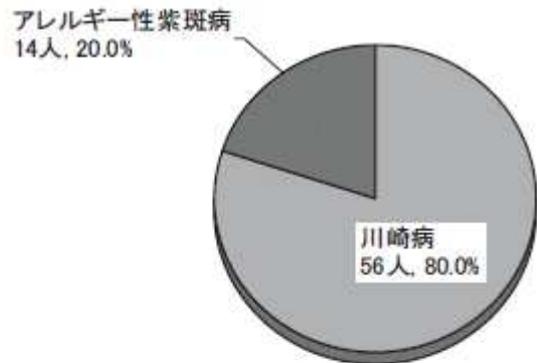
尿路感染症	66
膀胱尿管逆流症 DMSA/VCUG検査目的入院も含む	44
ネフローゼ症候群	14
慢性糸球体腎炎	4
ファンコニー症候群	3
水腎症	2
膜性増殖性糸球体腎炎	2
溶連菌感染後糸球体腎炎	2
巣状細菌性腎炎	1
巣状糸球体硬化症	1
IgA腎症	1
腎のう瘍	1
計	141



⑤免疫・膠原病 (人)

疾患名	患者数
川崎病	56
アレルギー性紫斑病	14
計	70

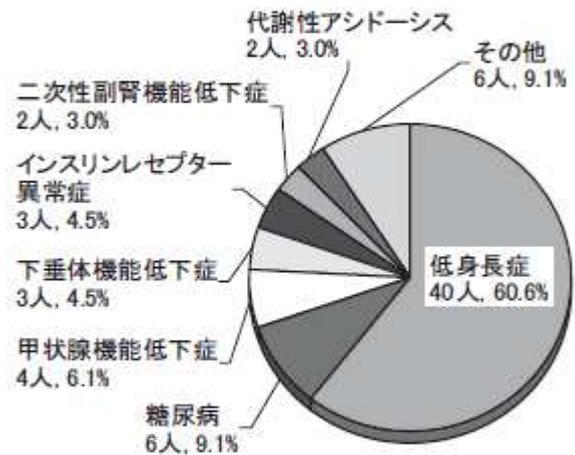
免疫・膠原病 70人



⑥内分泌疾患、代謝性疾患 (人)

低身長症	40
糖尿病	6
甲状腺機能低下症	4
下垂体機能低下症	3
インスリンレセプター異常症	3
二次性副腎機能低下症	2
代謝性アシドーシス	2
甲状腺機能亢進症	1
思春期早発症	1
低血糖	1
ケトアシドーシス	1
インスリン分泌異常症	1
低ナトリウム血症	1
計	66

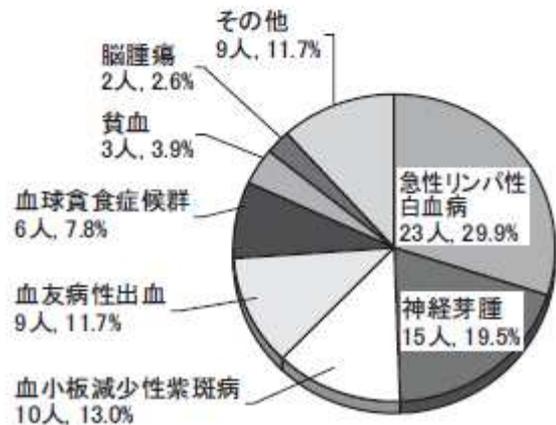
内分泌疾患、代謝性疾患 66人



⑦血液・腫瘍疾患 (人)

急性リンパ性白血病	23
再入院、反復治療目的入院も含む	
神経芽腫	15
再入院、反復治療目的入院も含む	
血小板減少性紫斑病	10
血友病性出血	9
再入院、反復治療目的入院も含む	
血球貪食症候群	6
貧血	3
脳腫瘍	2
ランゲルハンス細胞組織球症	1
好中球減少症	1
鉄欠乏性貧血	1
肝芽腫	1
フォンヴィルブラント病	1
亜急性壊死性リンパ節炎	1
骨肉腫	1
胸膜肺芽腫	1
非ホジキンリンパ腫	1
計	77

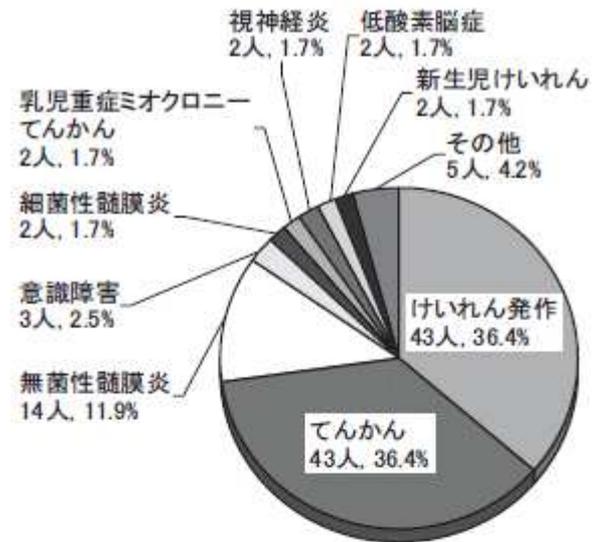
血液・腫瘍疾患 77人



⑧神経・筋疾患 (人)

疾患名	患者数
けいれん発作	43
てんかん	43
無菌性髄膜炎	14
意識障害	3
細菌性髄膜炎	2
乳児重症ミオクロニーてんかん	2
視神経炎	2
低酸素脳症	2
新生児けいれん	2
熱性けいれん	1
硬膜下血腫	1
ミトコンドリアミオパチー	1
抗NMDA受容体脳炎	1
一過性片麻痺	1
計	118

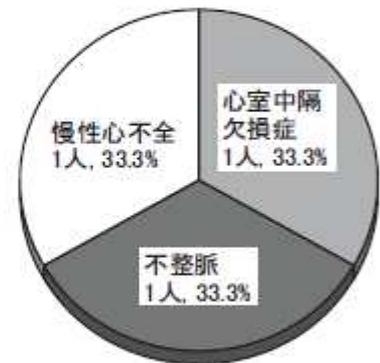
神経・筋疾患 118人



⑨心臓・循環器疾患 (人)

心室中隔欠損症	1
不整脈	1
慢性心不全	1
計	3

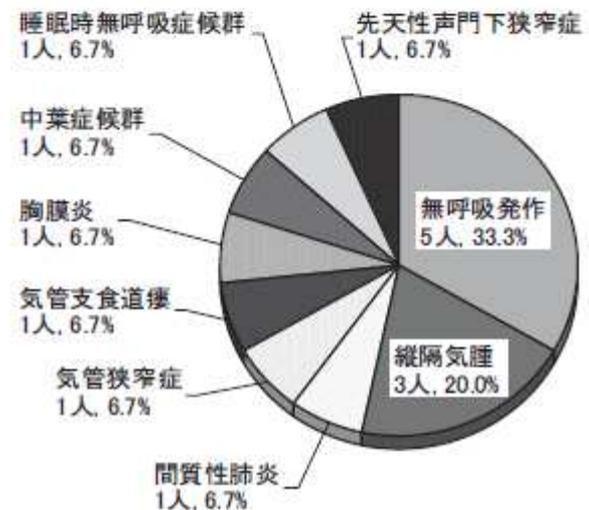
心臓・循環器疾患 3人



⑩呼吸器疾患 (人)

無呼吸発作	5
縦隔気腫	3
間質性肺炎	1
気管狭窄症	1
気管支食道瘻	1
胸膜炎	1
中葉症候群	1
睡眠時無呼吸症候群	1
先天性声門下狭窄症	1
計	15

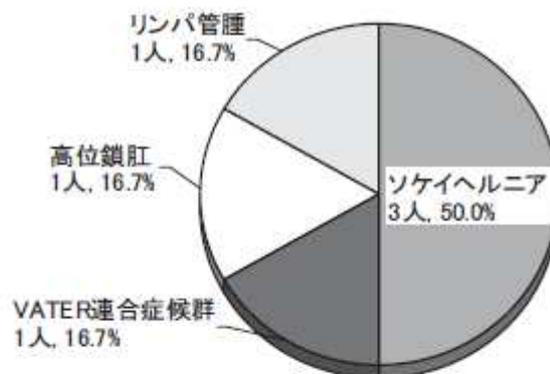
呼吸器疾患 15人



⑪染色体異常・奇形

疾患名	患者数
ソケイヘルニア	3
VATER連合症候群	1
高位鎖肛	1
リンパ管腫	1
計	6

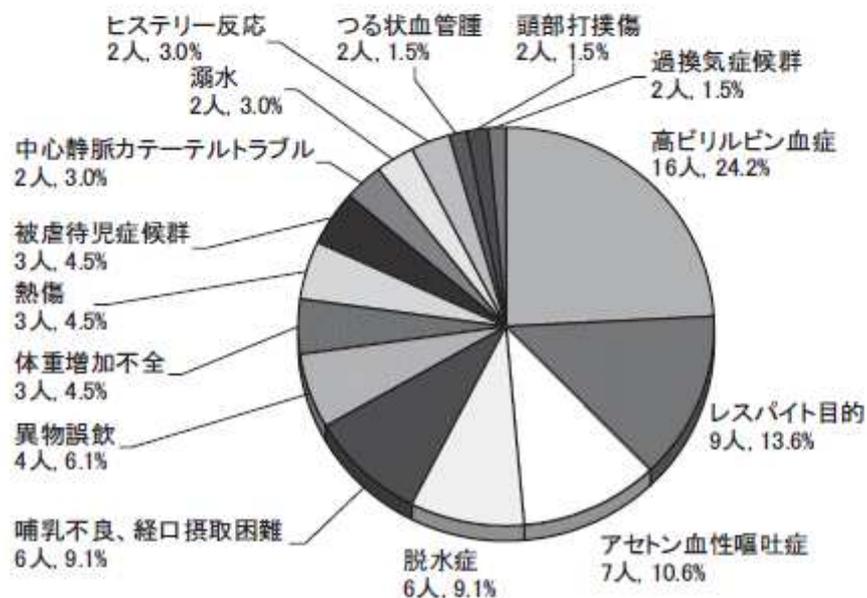
染色体異常・奇形 6人



⑫その他

高ビリルビン血症	16
レスパイト目的	9
アセトン血性嘔吐症	7
脱水症	6
哺乳不良、経口摂取困難	6
異物誤飲	4
体重増加不全	3
熱傷	3
被虐待児症候群	3
中心静脈カテーテルトラブル	2
溺水	2
ヒステリー反応	2
つる状血管腫	1
頭部打撲傷	1
過換気症候群	1
計	66
合計	1,278

その他 66人

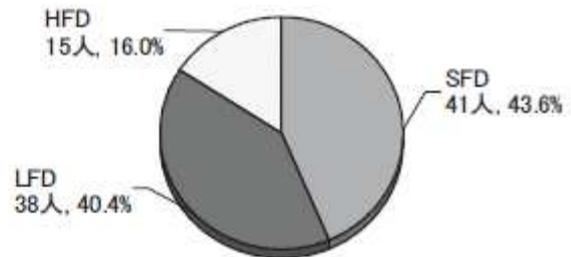


新生児医療センター

①胎児発育による分類 (人)

SFD	41
LFD	38
HFD	15
計	94

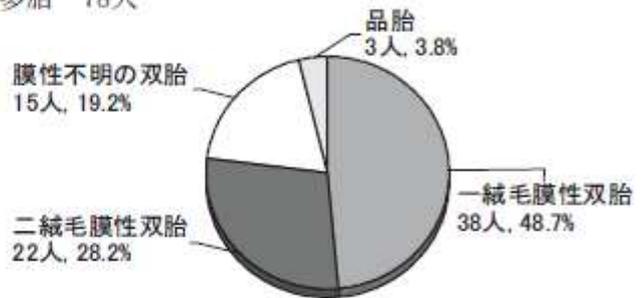
胎児発育による分類 94人



②多胎 (人)

一絨毛膜性双胎	38
二絨毛膜性双胎	22
膜性不明の双胎	15
品胎	3
計	78

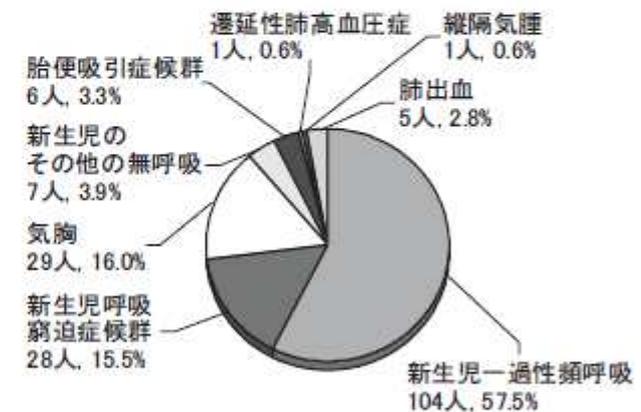
多胎 78人



③呼吸器疾患 (人)

新生児一過性頻呼吸	104
新生児呼吸窮迫症候群	28
気胸	29
新生児のその他の無呼吸	7
胎便吸引症候群	6
遷延性肺高血圧症	1
縦隔気腫	1
肺出血	5
計	181

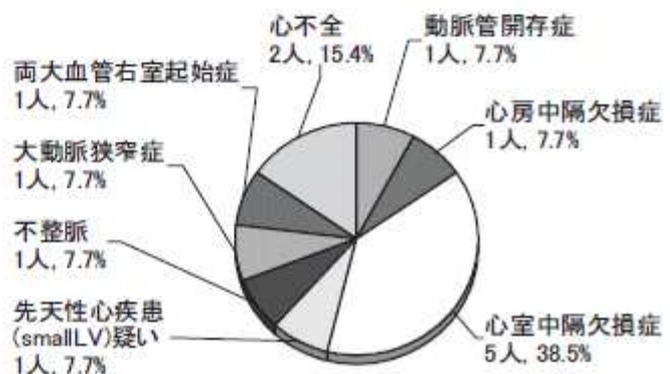
呼吸器疾患 181人



④循環器疾患 (人)

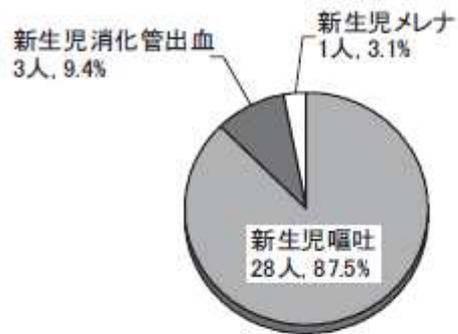
動脈管開存症	1
心房中隔欠損症	1
心室中隔欠損症	5
先天性心疾患 (smallLV) 疑い	1
不整脈	1
大動脈狭窄症	1
両大血管右室起始症	1
心不全	2
計	13

循環器疾患 13人



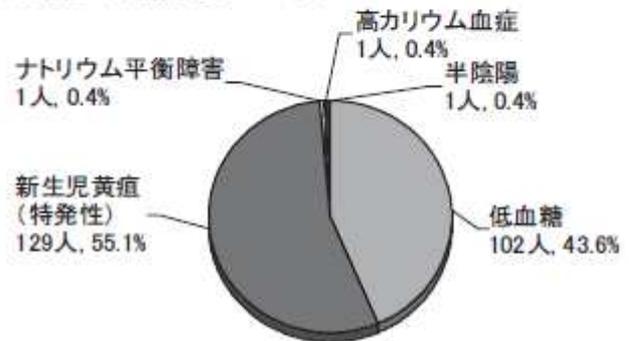
⑤消化器疾患 (人)	
新生児嘔吐	28
新生児消化管出血	3
新生児メレナ	1
計	32

消化器疾患 32人



⑥内分泌・代謝疾患 (人)	
低血糖	102
新生児黄疸 (特発性)	129
ナトリウム平衡障害	1
高カリウム血症	1
半陰陽	1
計	234

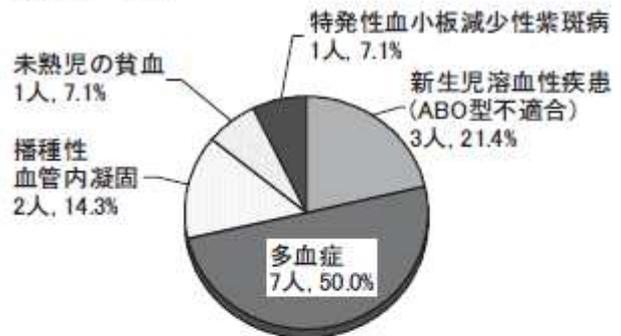
内分泌・代謝疾患 234人



⑦神経疾患 (人)	
胎児頭蓋内出血疑い	2

⑧血液疾患 (人)	
新生児溶血性疾患 (ABO型不適合)	3
多血症	7
播種性血管内凝固	2
未熟児の貧血	1
特発性血小板減少性紫斑病	1
計	14

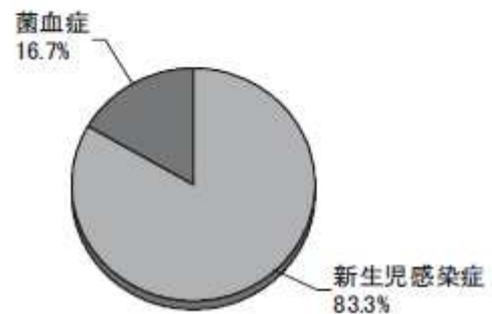
血液疾患 14人



⑨腎・泌尿器疾患 (人)	
両側水腎症	1

⑩感染症 (人)	
新生児感染症	5
菌血症	1
計	6

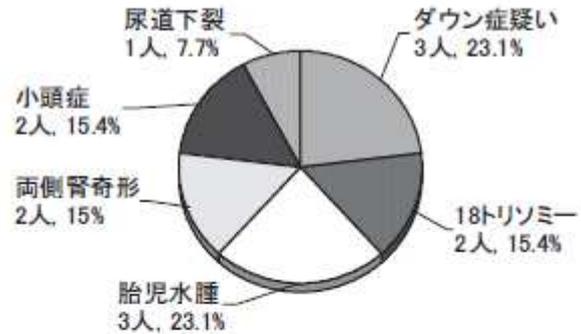
感染症 6人



⑪先天異常 (人)

ダウン症疑い	3
18トリソミー	2
胎児水腫	3
両側腎奇形	2
小頭症	2
尿道下裂	1
計	13

先天異常 13人



⑫新生児仮死 21人

⑬その他外科疾患 (人)

鎖肛	4
右外耳閉鎖症	1
計	5

⑭その他 (人)

四肢短縮症疑い	1
双胎間輸血症候群疑い	2
計	3

(3) 4階西病棟新生児室疾患別入院患者数 (2011年)

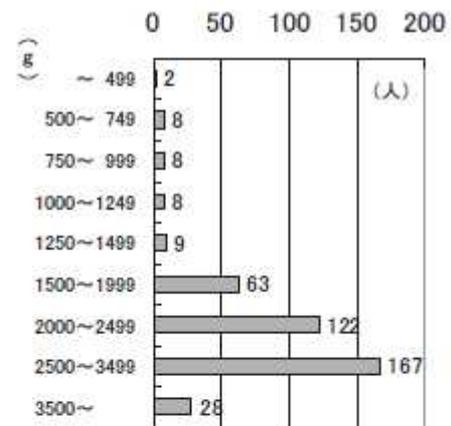
①高ビリルビン血症 34人

(4) 新生児医療センター(NMC)患者統計 (2011年)

①出生体重別入院患者 (人)

体重 (g)	人数	死亡例
~ 499	2	1
500~ 749	8	
750~ 999	8	
1000~1249	8	
1250~1499	9	1
1500~1999	63	
2000~2499	122	
2500~3499	167	
3500~	28	
合計	415	2

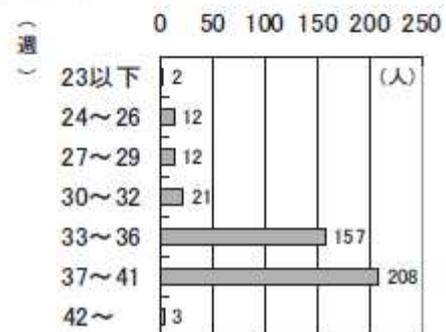
出生体重別入院患者 415人



②在胎週数別入院患者 (人)

週数	人数	死亡例
23以下	2	1
24~26	12	
27~29	12	
30~32	21	
33~36	157	1
37~41	208	
42~	3	
合計	415	2

在胎週数別入院患者 415人



③入院患者分娩施設 (人)

病院名	患者数
豊橋市民病院	345
小石マタニティ&チルドレンクリニック	18
マミーローズクリニック	11
愛知県厚生連 渥美病院	10
中岡レディースクリニック	7
ふたば助産院	1
ジュン・レディースクリニック	7
渡辺M.C	6
蒲郡市民	7
杉浦クリニック	2
豊川市民	1
合計	415

入院患者分娩施設 415人

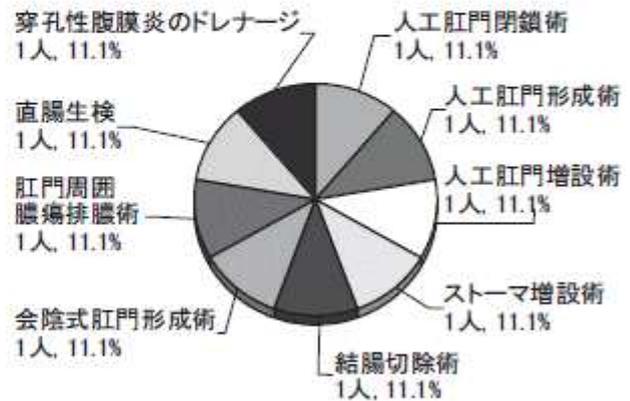


④手術件数 (人)

小児外科 (人)

人工肛門閉鎖術	1
人工肛門形成術	1
人工肛門増設術	1
ストーマ増設術	1
結腸切除術	1
会陰式肛門形成術	1
肛門周囲膿瘍排膿術	1
直腸生検	1
穿孔性腹膜炎のドレナージ	1
合計	9

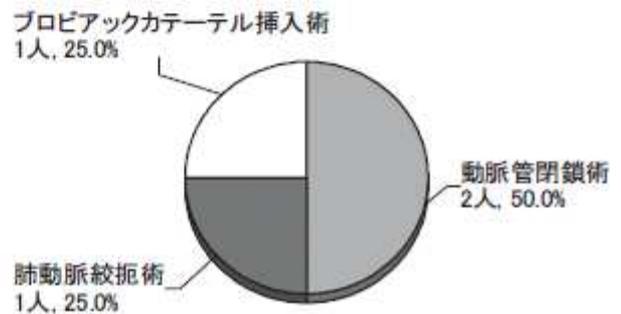
小児外科 9人



胸部外科 (人)

動脈管閉鎖術	2
肺動脈絞扼術	1
プロビアックカテーテル挿入術	1
合計	4

胸部外科 4人



眼科 (人)

光凝固術	5
------	---

脳神経外科 (人)

経皮的脳血管形成術	1
-----------	---

⑤死亡例 (人)

両大血管右室起始症	1
早産児、超低出生体重児	1
合計	2

業績

- 学会・研究会発表
- 座長
- 講演
- 論文

学会・研究会発表

1. ミトコンドリア病を疑うも検査上明らかな異常を認めない Leigh 脳症の3例
杉本六希、相場佳織、杉本真里、加藤大典、小山典久、横地健治
第 34 回日本小児神経学会東海地方会(名古屋) 2011.1.29
2. Joubert 症候群の頭部 MRI 所見
相場佳織、杉本六希、杉本真里、加藤大典、小山典久、横地健治、辻 健史、
白井眞美、大川夏紀
第 34 回日本小児神経学会東海地方会(名古屋) 2011.1.29
3. 致死的経過をたどったモザイク型ダウン症における TAM の1例
川瀬恒哉
第 54 回東海小児血液懇話会(名古屋)2011.2.1
4. 肺炎で発症した胸膜肺芽腫の1例
水野賀史、田井中貴久、金子健一郎
第 59 回東海小児がん研究会(名古屋)2011.2.5
5. 気管支動脈蔓状血管腫の1例
花田 優、相場佳織、水野賀史、杉浦至郎、金原有里、加藤大典、竹内 幸、
伊藤 剛、小山典久、舘 靖
第 251 回日本小児科学会東海地方会(名古屋)2011.2.6
6. 交換輸血にのぞまれる血液とその供給について
小山典久
第 13 回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム(大町)2011.2.17
7. 酵素補充療法を開始した fabry 病小児兄弟例
加藤大典
第5回ファブリー病シンポジウム(東京)2011.2.26

8. Reye-like syndrome の1歳男児例
加藤大典
第 114 回日本小児科学会(東京)2011.4.15~17
9. 新生児遷延性肺高血圧症で発症した特発性間質性肺炎の1例
水野賀史、川瀬恒哉、相場佳織、杉本真里、戸川貴夫、金原有里、幸脇正典、
伊藤 剛、小山典久
第 252 回日本小児科学会東海地方会(名古屋)2011.5.22
10. 新生児期に発症し在宅人工呼吸を導入したミトコンドリア呼吸鎖複合体異常症の1例
杉本真里、相場佳織、加藤大典、小山典久、横地健治、村山 圭、大竹 明
第 53 回日本小児神経学会総会(横浜)2011.5.26
11. Joubert 症候群の MRI 所見
相場佳織、杉本真里、加藤大典、小山典久、横地健治、辻 健史
第 53 回日本小児神経学会総会(横浜)2011.5.26
12. MRI 所見が微細であった遅発性拡散低下をともなう急性脳症の4例
辻 健史、谷口顕信、横井摂理、杉本真里、久保田哲夫、加藤 徹、梶田光春、
早川文雄、安藤直樹、奥村彰久、夏目 淳、東海小児神経研究会
第 53 回日本小児神経学会総会(横浜)2011.5.27
13. 新生児・乳児期早期の異常運動
幸脇正典
第 53 回日本小児神経学会総会(横浜)2011.5.28
14. 致死的経過をたどったモザイク型ダウン症における一過性骨髄異常増殖症の一例
川瀬恒哉、大下裕法、佐々木智章、杉本真里、戸川貴夫、幸脇正典、小山典久
第 47 回日本周産期・新生児医学会(札幌)2011.7.11
15. 臍動脈カテーテル(UAC)に関連した腹部大動脈血栓症の1例
吉田光紗、大下裕法、川瀬恒哉、田中達之、佐々木智章、杉本真里、戸川貴夫、
幸脇正典、小山典久
第 47 回日本周産期・新生児医学会(札幌)2011.7.11
16. 選択的帝王切開における適切な分娩時期の検討
諸井博明、岡田真由美、芳川修久、向 麻利、寺西佳枝、天方朋子、若原靖典、
河井通泰、幸脇正典
第 47 回日本周産期・新生児医学会(札幌)2011.7.11

17. 重症な肝線維化により致死的経過をたどった一過性骨髄異常増殖症の2例
川瀬恒哉、田中達之、大下裕法、佐々木智章、杉本真里、戸川貴夫、杉浦時雄、
幸脇正典、小山典久
第 28 回日本小児肝臓研究会(つくば)2011.7.16
18. 卵巣腫瘍を認め早期に摘出できた抗 NMDA 受容体脳炎の1例
大下裕法、相場佳織、杉本真里、水野賀史、杉本六希、杉浦至郎、金原有里、
加藤大典、竹内 幸、伊藤 剛、小山典久、横地健治、高橋幸利
第 35 回日本小児神経学会東海地方会(名古屋)2011.7.30
19. 滑脳症(グレード5)の1例
加藤大典、相場佳織、杉本真里、小山典久、横地健治
第 35 回日本小児神経学会東海地方会(名古屋)2011.7.30
20. 酵素補充療法開始から5年経過した乳児型ポンペ病の1例
木部哲也、村上知隆、清水 薫、野村武雅、吉村 歩、大高幸之助、池谷真苗、
側島健宏、宮崎直樹、中島秀幸、横地健治、杉本真里
第 35 回日本小児神経学会東海地方会(名古屋)2011.7.30
21. 乳幼児の軽微な症状に対する保護者の知識や考え方に関する調査
杉浦至郎、小山典久
第 114 回日本小児科学会学術集会(東京)2011.8.14
22. 診断に難渋した大動脈炎症候群の2例
花田 優、杉本六希、慶田喜孝、相場佳織、水野賀史、杉浦至郎、金原有里、
竹内 幸、加藤大典、伊藤 剛、小山典久、岩田直美
第 47 回中部日本小児科学会(名古屋)2011.8.21
23. 3年間に渡るビンブラスチンの毎週投与により小康状態を保っている視神経膠腫の
1例
水野賀史、伊藤 剛、佐々木智章、相場佳織、山近紗知子、杉浦至郎、金原有里、
加藤大典、竹内 幸、小山典久
第 253 回日本小児科学会東海地方会(岐阜)2011.10.23
24. Dravet 症候群の1段事例
相場佳織、杉本真里、加藤大典、横地健治
第 63 回名古屋臨床脳波検討会(名古屋)2011.10.29

25. エリスリトール摂取によりアナフィラキシーショックを認めた1症例
杉浦至郎、慶田喜孝、田中達之、花田 優、相場佳織、水野賀史、竹内 幸、
伊藤 剛、小山典久
日本小児アレルギー学会(福岡)2011.10.30
26. 豊橋市民病院における小児在宅医療の実態と課題—送り出す側から—
小山典久
第 21 回東海外来小児科学研究会(名古屋)2011.11.6
27. 早産児の広範性白質障害症例の検討
杉本六希、相場佳織、杉本真里、加藤大典、幸脇正典、横地健治、小山典久、
杉浦 弘
第 42 回胎児・新生児神経研究会(東京)2011.11.26
28. 致死的経過をたどったモザイク型ダウン症における一過性骨髄異常増殖症の一例
川瀬恒哉、大下裕法、田中達之、佐々木智章、杉本真里、戸川貴夫、幸脇正典、
伊藤 剛、小山典久
第 53 回日本小児血液・がん学会学術集会(前橋)2011.11.27
29. EFFECTS OF ANGIOTENSIN II RECEPTOR BLOCKER AND β -BLOCKER ON
HYPERTROPHIC CARDIOMYOPATHY ASSOCIATED WITH INFANTILE
MITOCHONDRIAL RESPIRATORY CHAIN DISORDERS
TAKAO TOGAWA, MARI SUGIMOTO, MASANORI KOUWAKI,
NORIHISA KOYAMA
10th WORLDCONGRESS OF PERINATAL MEDICINE Punta del Este (Uruguay)
2011.11.8~11
30. 当院における小児在宅人工呼吸器患者についての現状と課題
水野賀史、大下裕法、杉本六希、佐々木智章、相場佳織、杉本真里、戸川貴夫、
竹内 幸、幸脇正典、小山典久
第 56 回日本未熟児新生児学会・学術集会(東京)2011.11.13~15
31. 未熟児貧血に対する輸血トリガー値の国際比較
小山典久、高橋幸博、伊藤 進、田村正徳
第 56 回日本未熟児新生児学会・学術集会(東京)2011.11.13~15
32. Emanuel 症候群3例の検討
慶田喜孝、佐々木智章、水野賀史、杉本真里、戸川貴夫、幸脇正典、小山典久
第 56 回日本未熟児新生児学会・学術集会(東京)2011.11.13~15

33. 出生前診断と倫理

西山久美子、伊佐早ゆかり、小川 亮、梶川大悟、阪上美寿々、杉本六希、
西山久美子、俣野美雪、松尾康司、宮路尚子、山崎 晋
第 56 回日本未熟児新生児学会(東京)2011.11.13～15

座長

1. 緊急の輸血・交換輸血に必要な血液は手に入るのか？

小山典久

第 13 回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム(大町)2011.2.17

2. 早産児

小山典久

第 56 回日本未熟児新生児学会・学術集会(東京)2011.11.15

3. E ポスター5

小山典久

第 47 回周産期・新生児医学会(札幌)2011.7.11

4. 血小板

小山典久

第 21 回日本産婦人科・新生児血液学会(大阪)2011.6

5. 小児てんかんの新しい治療戦略

小山典久

第 158 回東三河小児科医会学術講演会(豊橋)2011.9.24

講演

1. 痙攣と遷延する意識障害を示した患者さんから得られた教訓

小山典久

豊橋薬剤師会講演会(豊橋)2011.3.17

2. 豊橋市民病院小児科における在宅医療患者の実態

小山典久

東三河地区臨床懇談会(愛知県保険医協会東三河地区主催)(豊橋)2011.6.30

論文

1. 黄疸(高ビリルビン血症)
小山典久
ペリネイタルケア 204-212 頁 2011
2. 急性期に縦隔リンパ節腫大を合併した川崎病の1例
川瀬恒哉、相場佳織、小山典久
小児感染免疫 23 巻 241-245 頁 2011
3. 早産児晩期循環不全
小山典久
小児内科 43 巻 1226-1230 頁 2011
4. 極低出生体重児 176 例の 3 歳における発達予後
神谷 猛、森嶋直人、馬渡敬介、近藤真巳子、山本 実、幸脇正典、小山典久
愛知県理学療法学会誌 23 巻 5-9 頁 2011
5. Neurodevelopmental Outcomes at 18 Months' Corrected Age of Infants Born at 22 Weeks of Gestation
Tokio Sugiura, Masanori Kouwaki, Yasuko Togawa, Mari Sugimoto, Takao Togawa, Norihisa Koyama
Neonatology 100 巻 228-232 頁 2011
6. 臍動脈カテーテルに関連した腹部大動脈血栓に対し recombinant tissue plasminogen activator (rt-PA) 投与にて完全溶解が得られた一新生児例
戸川貴夫、花田光紗、佐々木智章、杉本真里、幸脇正典、小山典久
日本周産期・新生児医学会雑誌 47 巻 868-872 頁 2011
7. 交換輸血
小山典久
周産期医学 41 巻 935-936 頁 2011
8. 新生児輸血療法
杉本真里、小山典久
周産期医学 41 巻 937-939 頁 2011

9. 新生児輸血に用いる院内採血した血液の適正な製造体制・順守基準 日本未熟児
新生児学会薬事委員会「新生児の輸血問題小委員会」からの提言
小山典久、網塚貴介、奥起久子、川口千晴、白川嘉継、長和 俊、細野茂春
日本未熟児新生児学会雑誌 23 巻 114-119 頁 2011

10. 輸血用血液製剤の種類と供給体制
小山典久
周産期医学 41 巻 1179-1182 頁 2011

